

この制度はおかしい!! もっと多くの人たちに知らせなければ...

7月11日(水) 東京南部生協で 「後期高齢者医療制度についての学習会」 開催

城南保健生協と東京南部生協は「健康まつり」や「青空相談会」など一緒になってとりくんできましたが、今回は、学習会を開催しました。

後期高齢者医療制度が来年4月から実施されると聞き、詳しい中身をお聞きしたいと、「平和とくらしの委員会」で城南保健生協に講師をお願いしたところ、大田病院事務次長の市川由さんに来ていただくことができました。

参加された方からは、「多くの国民に知らされていないのに大変な問題だ」などの声が多くよせられました。以下、参加された方の感想を一部掲載させていただきます。

—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*

- * 最近、テレビでも医療費を払えない高齢者のことが問題になっていますが、この後期高齢者医療制度が始まると、もっと大変なことになりますね。
- * 長年、国のために尽くしてこられた高齢者が、心身ともに大きなダメージを受ける制度だと思います。高齢者こそ、安心できる医療制度を望んでいるのに逆行しています。
- * 多くの方にはやく知っていただきたい、許せない制度です。
- * とても参考になりました。もっとまわりの方々に知らせ、意見を出していくよう努力していくつもりです。
- * お話を伺って、さらに悪化していく老人医療に、年をとっていくことに希望が持てない制度だというのが一番の思いです。私たちが知らないうちに、改悪、変化していく医療制度に何とか歯止めをかけなければ、また、関心をもたなければと強く感じています。
- * 高齢者になっていくのが不安でたまりません。



講師は、大田病院事務次長の市川さんでした

事務局より

後期高齢者医療制度は来年4月から実施されます。主な改悪は、

- * 70～74歳の窓口負担が1割から2割になります。
- * 75歳以上の全員から保険料が徴収されます (平均月6,200円)
- * 別だて診療報酬で75歳以上の医療に制限がされます。
- * 65歳～74歳の国保料を年金から天引きされます。

この改悪により、保険料を払えなくなる方が増大するのはもとより、病院へ行きたくてもお金がかかるから行けない。受診抑制にもつながります。

地域で、職場で、後期高齢者医療制度の中身を学習しましょう。そして、多くの方に知らせ、この制度を抜本的に見直すよう、声をあげていきましょう。今後、大田生活と健康を守る会や、地域でもこの学習会を行うことが決まっています。あなたの職場で、地域で学習会を行いましょう。講師は、城南福祉医療協会より派遣します。

2007年6月30日 AED地域医療講習会の報告

講師：岡田尚子先生



あっ！人が倒れている!! さあ大変だ…どうしよう。。(>_<)

- ① 胸を叩きながら「どうしました!？」と呼びかけつつ、大きな声でまわりに事態を知らせましょう。
- ☞頭を叩いてはダメ×！ 首が折れていたりする場合があります。胸を叩きましょう。

☞1人の時は、携帯電話も活用して119番通報を忘れずに。

② 他に人が居たら、具体的に指名して「119番」と「AED」を指示。分担して救命にあたりましょう。

☞「誰かやって」はダメ×！ 指さして「あなたやって」と明確に指示。
※公共施設などではこんな感じでAEDが設置されています。
開けると警報音が鳴動します。 → → →

③ 救急車が到着するまでおよそ7分！
あせらず、でも急いで。



★救命処置の基本は、
A (気道確保) → B (人工呼吸) → C (心臓マッサージ) → D (AED使用)
♥呼吸確認は、「見て」(胸の動き)、「聴いて」(うめき声など)、「感じて」(頬で息を)。



A) 気道確保
吐物など無ければ、仰向けにして「掌をおでこに」、もう一方の手の「2本指であごの先端を持ち上げる」ように。

B) 人工呼吸
“お助け呼吸2回”「倒れている人の鼻をつまんで」「息がもれないように」「胸がふくらんでいるか見ながら」

C) 心臓マッサージ
状態や状況によっては「気道確保」「人工呼吸」が素人には難しいことも多いと思います。いきなり心臓マッサージでも構いません。とにかく自分のできることを素早くやることが救命につながります。



☞「乳頭と乳頭の真ん中」を「腕を真っ直ぐにして掌をあてて」「乗り出して体重をかけて」まずは30回。

強くゆっくり。
☞心マ30回に人工呼吸2回がガイドライン。人工呼吸ができない場合はAEDが装着されるまで「絶え間なく(交替しながら)心マを」。AED到着しても手を抜かず…絶え間なく心臓マッサージ♥♥♥倒れている方の表情を見ながら心マするのが、正解です。



☞「人工呼吸は胸見ながら」「心マは顔見ながら」

D) AED (自動対外式除細動器) を使用

① 電源ボタンを押す (音声ガイドがはじまる)



☞慌てないで、音声ガイドに耳を傾けて指示通りに確実に操作しましょう。

② パットを直に貼る (パットに添付部位が図示)



☞水や金属など、倒れている方以外のまわりの人への感電を注意しましょう。



③ パットのラインを本体に差し込む (差し込むコネクター部分が点滅)
☞自動的に心電図解析が開始され「電気ショックが必要です」「必要ありません」を鑑別。音声で指示してくれます。



④ 「電気ショック必要」とガイダンスされたら、みんなも自分も離れていることを確認してから、除細動ボタン押す (この後、心電図解析と指示がくり返されます)



☞救急隊が到着するまで現場を離れずに、必要ならくり返し除細動を。



♥『AED (一次救命) 地域医療講習会』

- ♥講師：岡田尚子先生 (大田病院外科医)
- ♥於：前の浦集會室
- ♥参加者：21人 (看護奨学生2人含)

文責：野口昭彦
主催：城南保健生活協同組合／保健教育委員会

